

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年 6月20日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都中央区築地5-1-1

氏 名 国立研究開発法人 国立がん研究センター

理事長 中釜 齊

電話番号 03-3542-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和3年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
事業場の所在地	東京都中央区築地5-1-1
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	492.639t	全処理委託量	492.639t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0.005t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	492.634t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 497.615 t	前年度 538.871 t
------------------------------------	-------------------	------------------

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の減量や適正処理の確保を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的として、医療廃棄物管理規程をはじめとする各種規程を設けているところである。

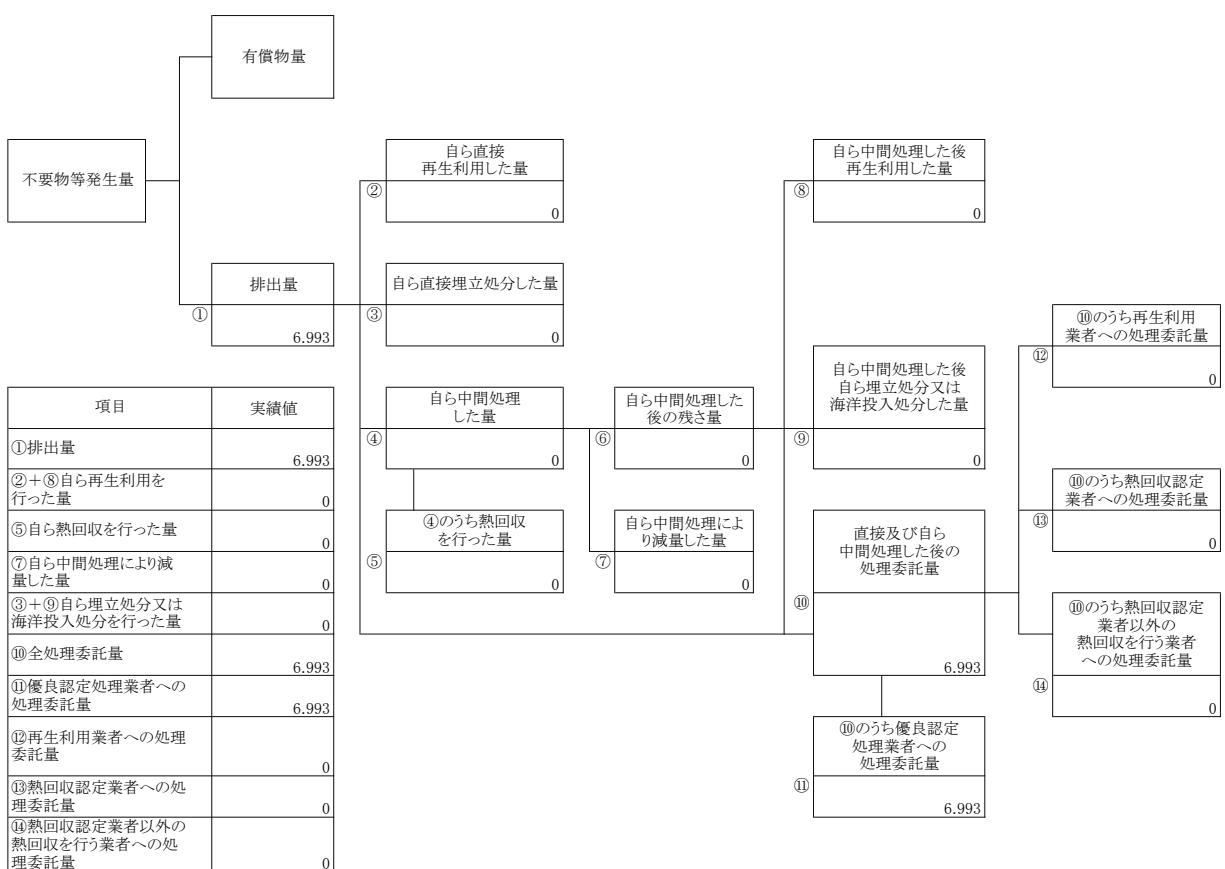
その中で、特別管理産業廃棄物責任者を副院長とし、廃棄物の発生状況、分別方法、病院内の収集及び運搬方法、保管方法、業者へ処理委託する場合の手続きを定め電子マニフェスト対応処理業者と契約を行った。

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

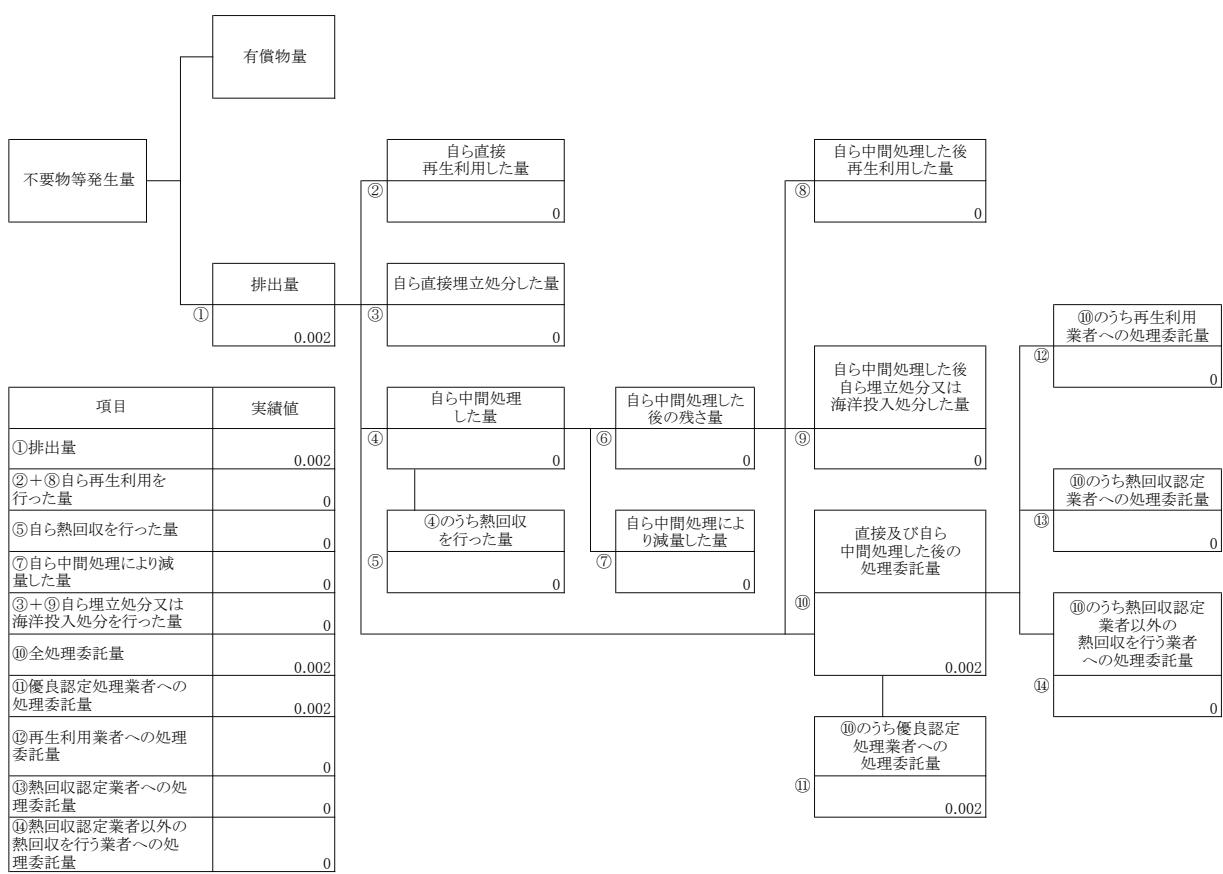
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廉酸)

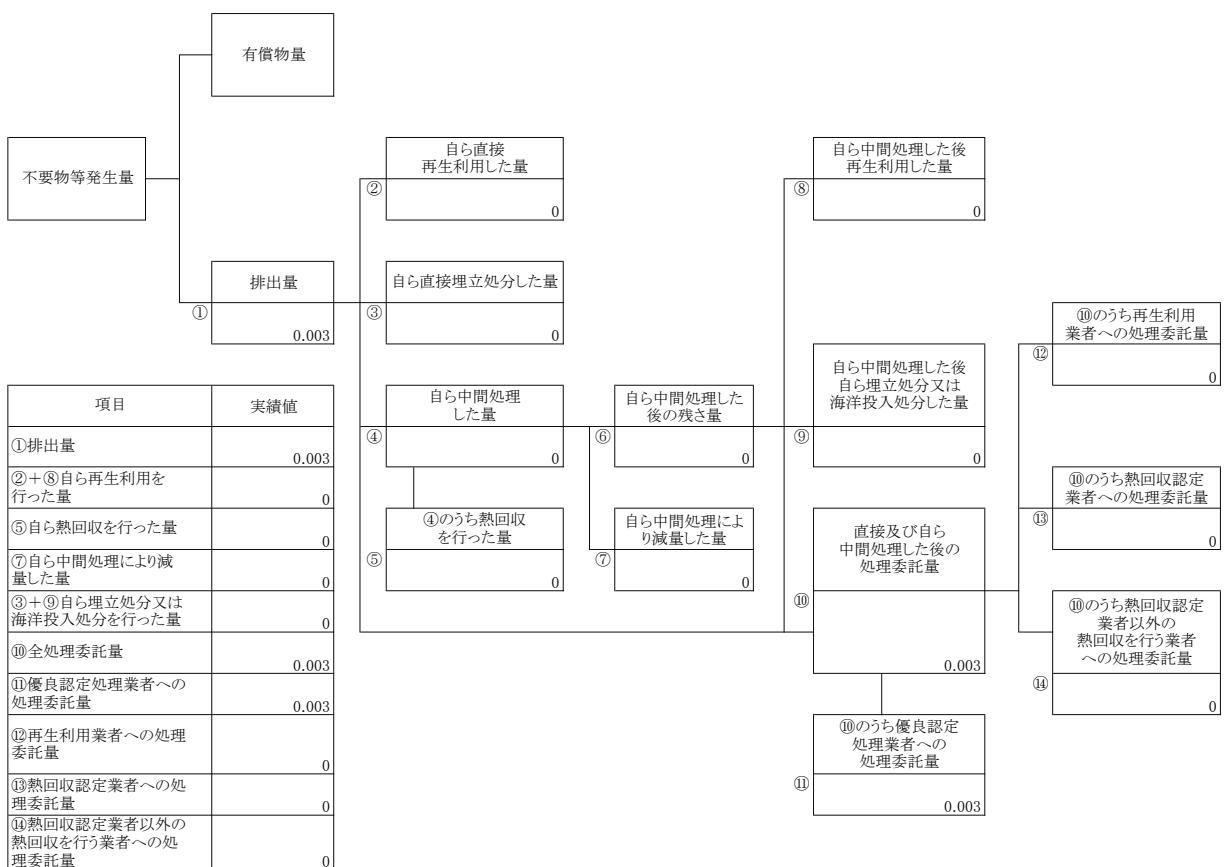
1



(第2面)

計画の実施状況

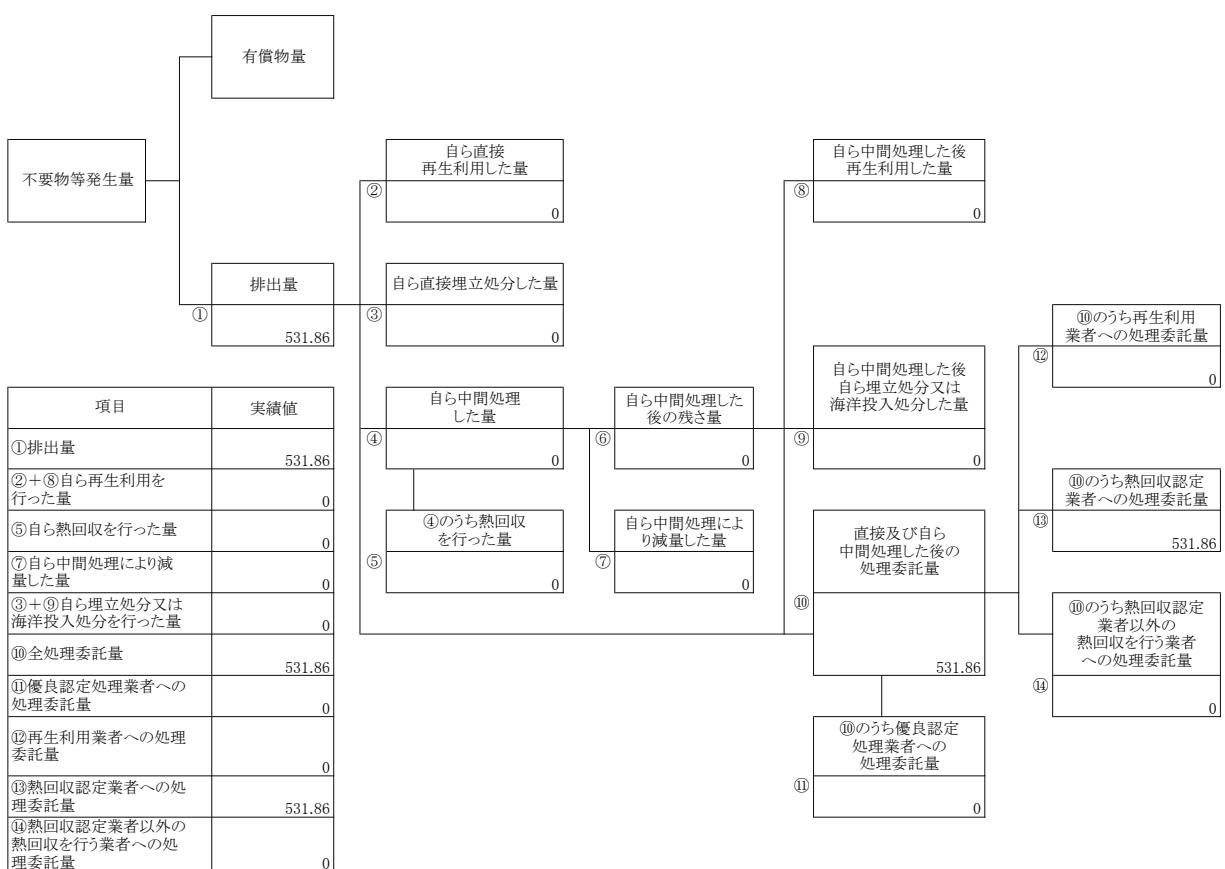
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 感染性廃棄物)

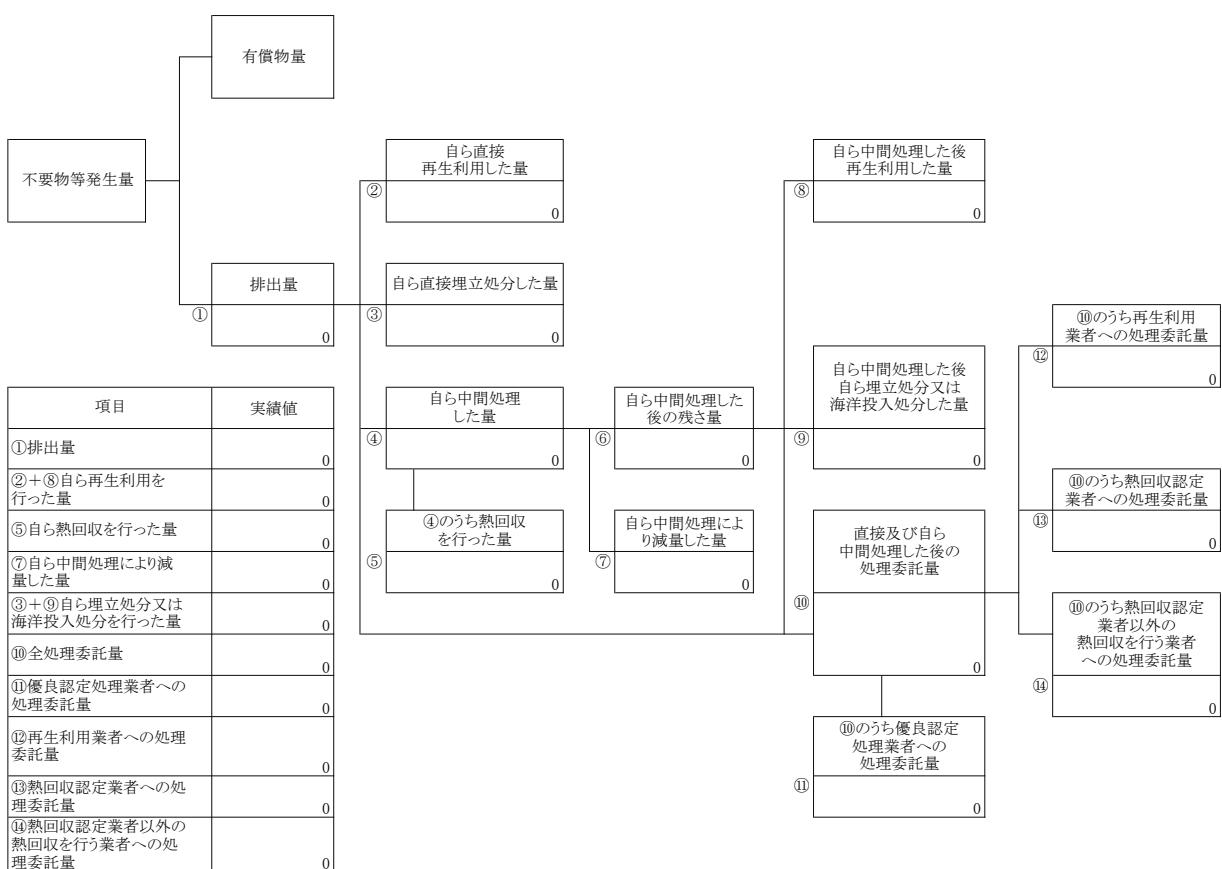
)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃PCB等)

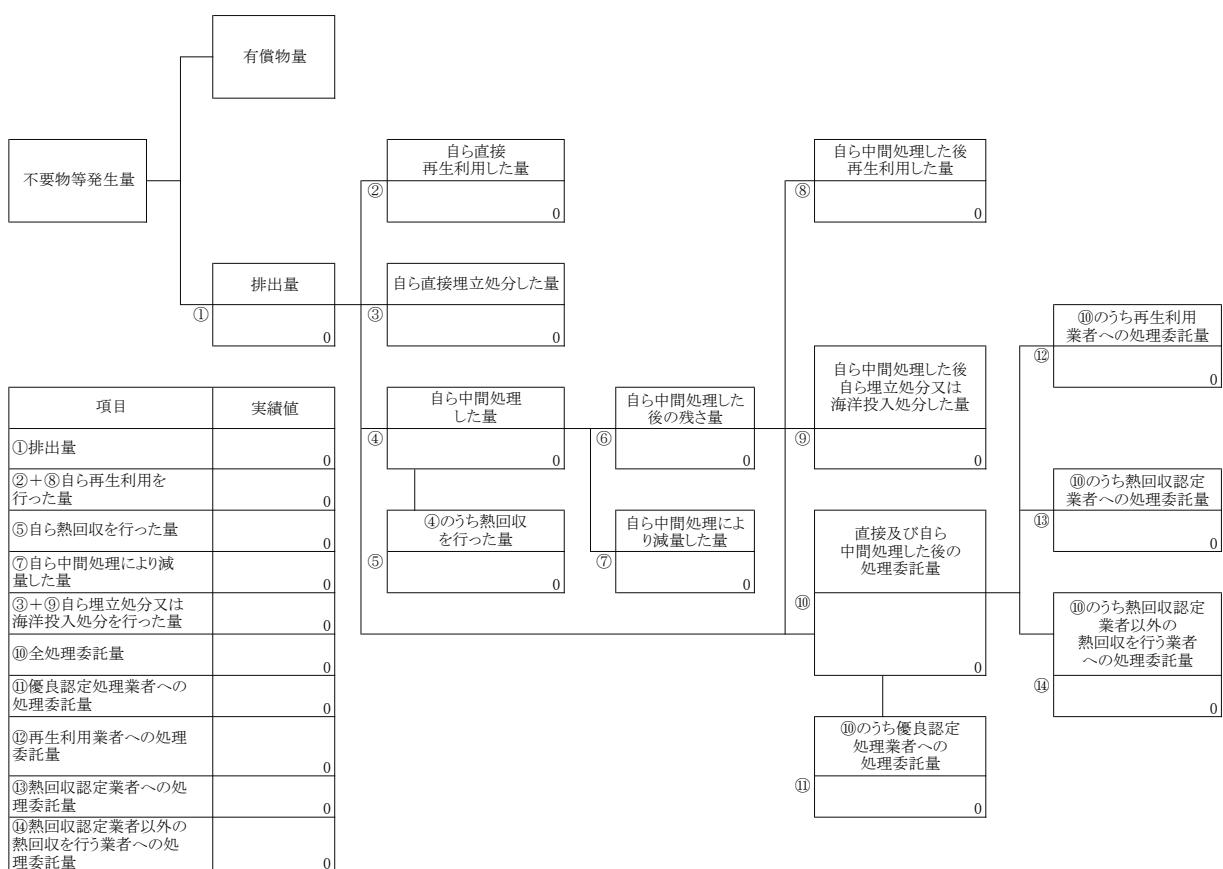
)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: PCB汚染物

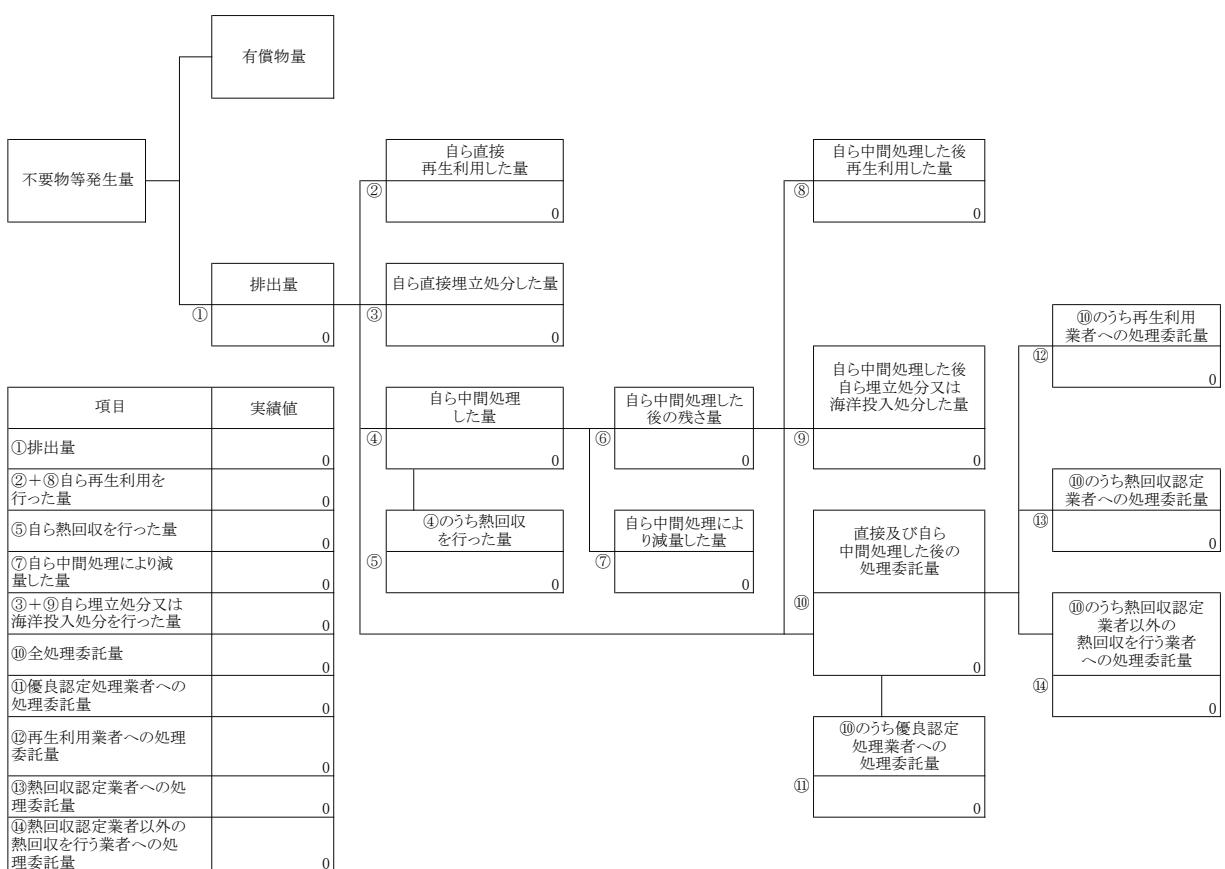
)



計画の実施状況

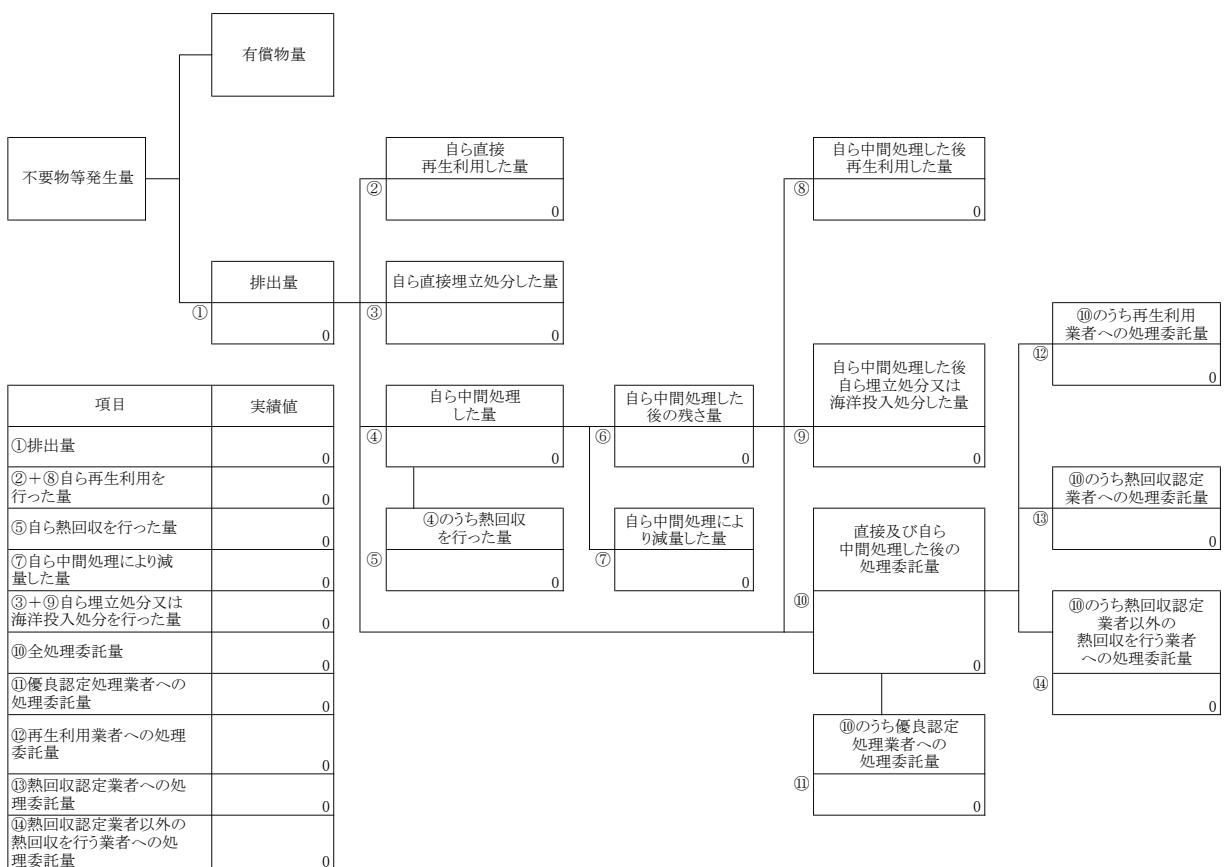
(特別管理産業廃棄物の種類: PCB処理物)

)



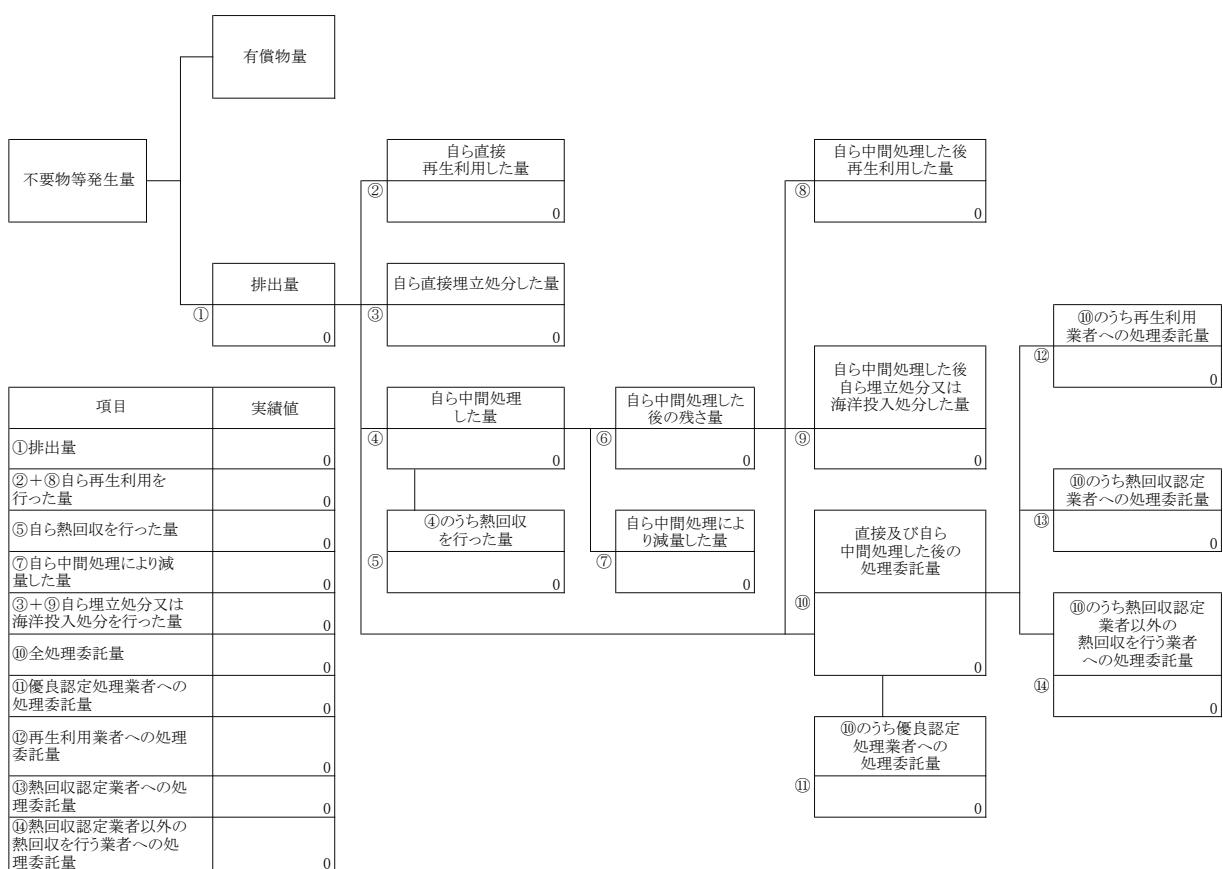
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 指定下水道汚泥)



計画の実施状況

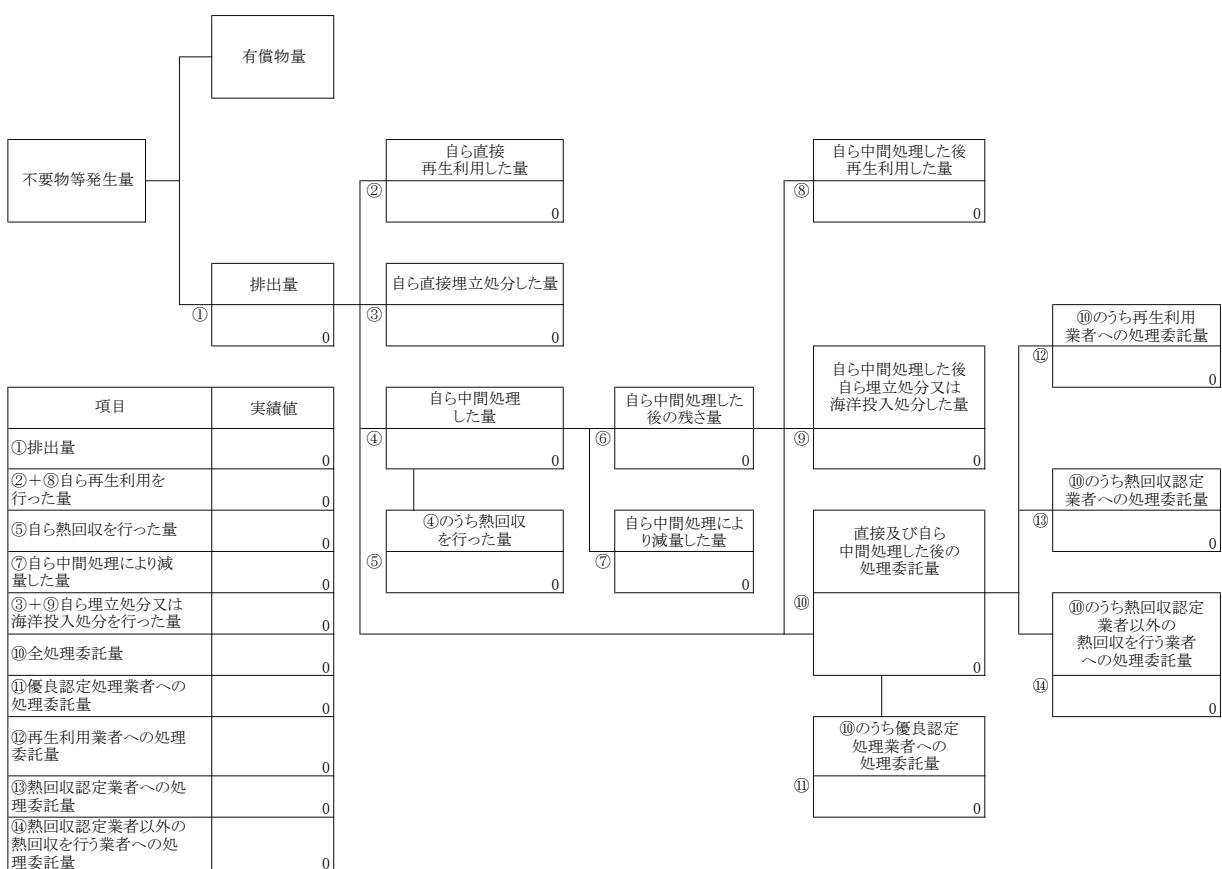
(特別管理産業廃棄物の種類: 鉛さい)



計画の実施状況

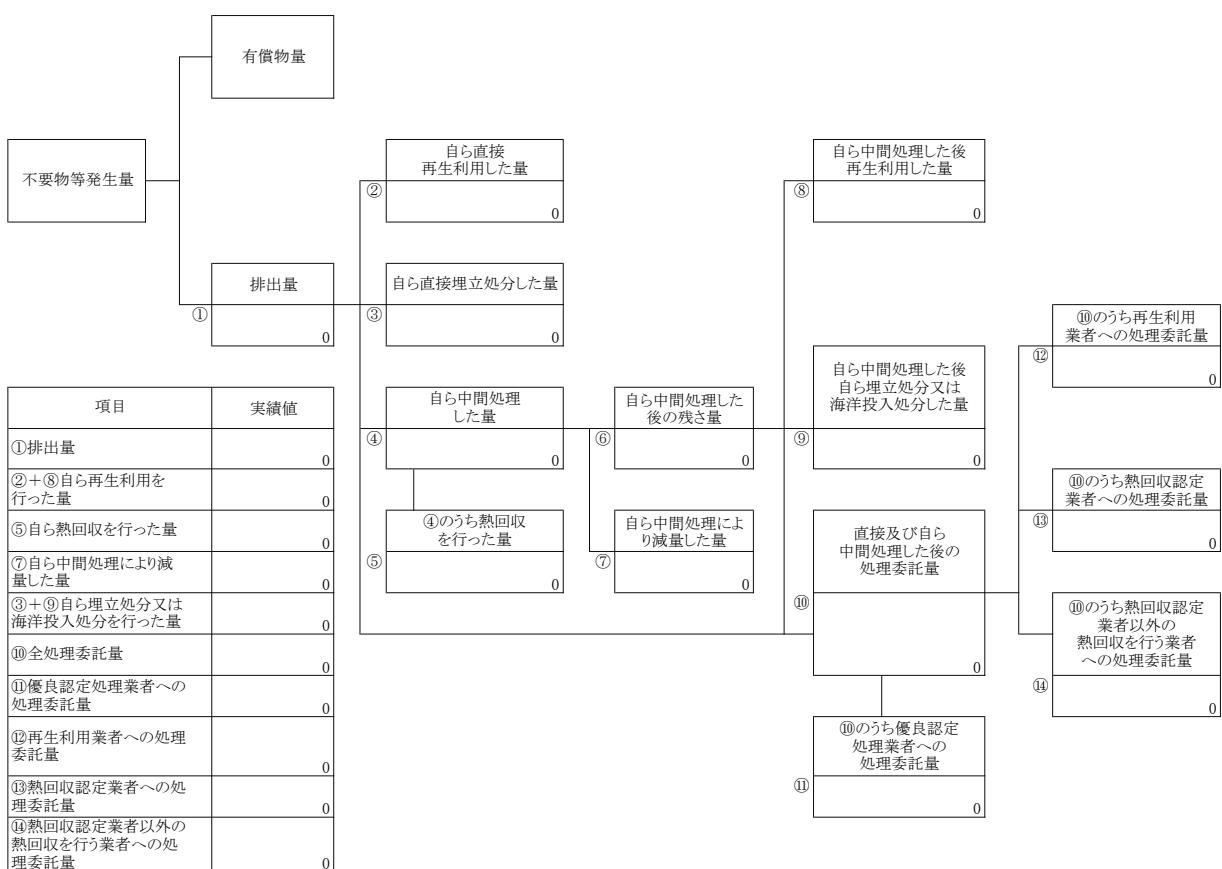
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃石綿等)

)



計画の実施状況

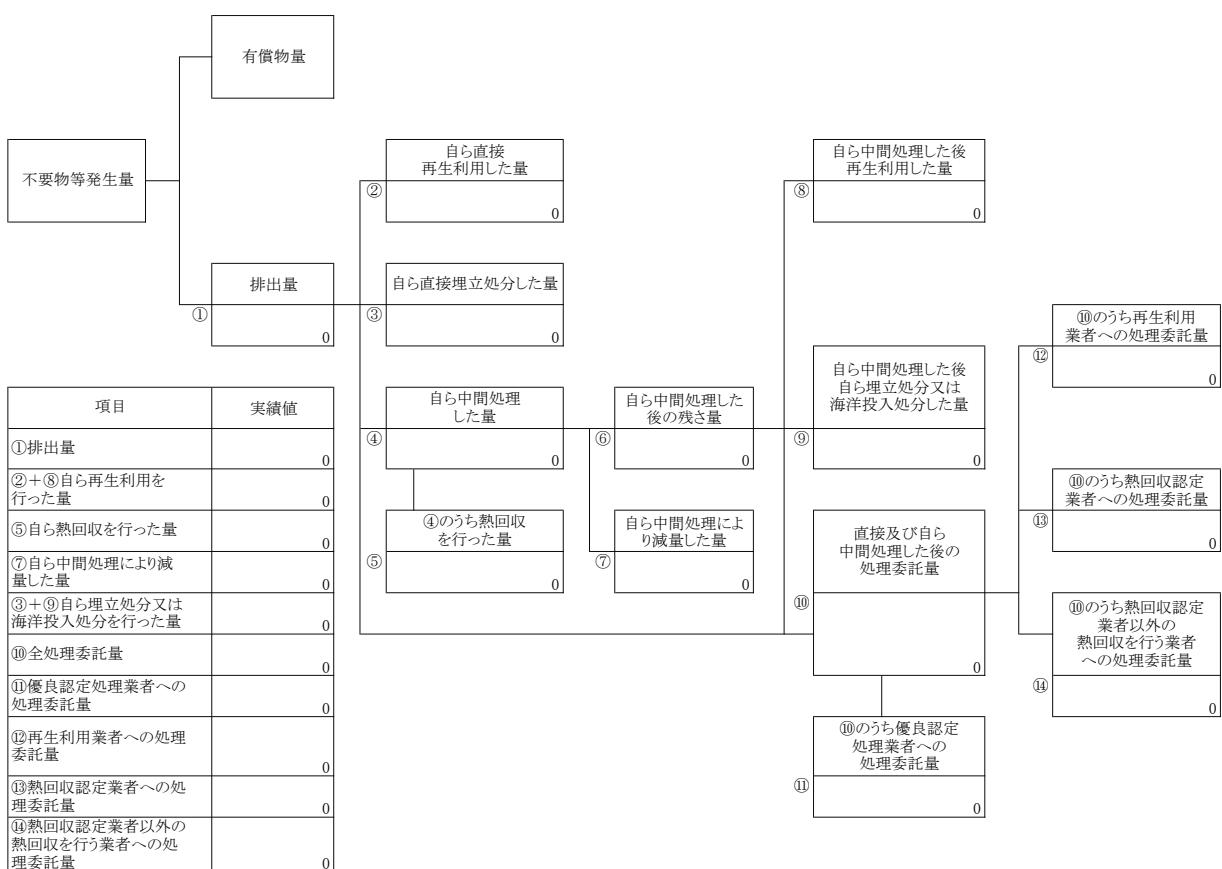
(特別管理産業廃棄物の種類: 燃え殻)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: ばいじん)

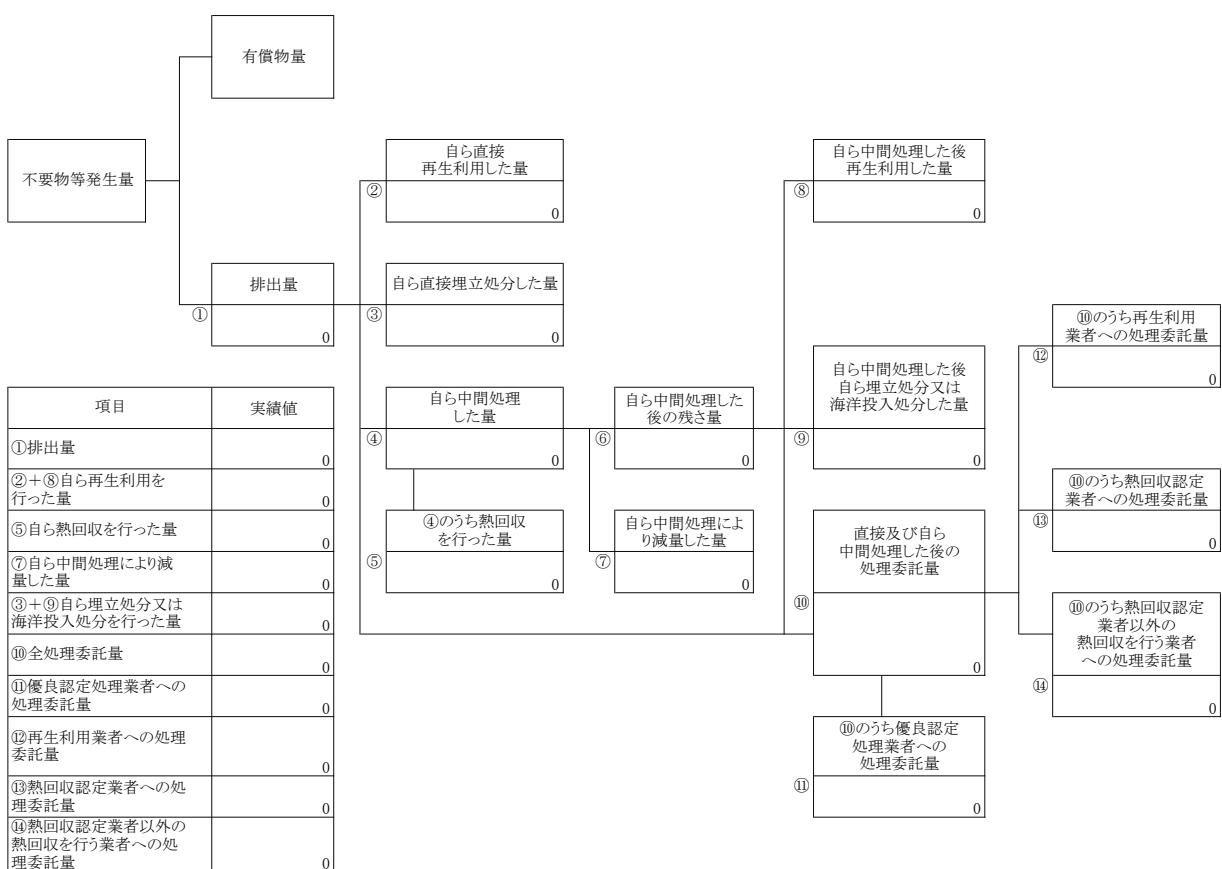
)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油(廃溶剤))

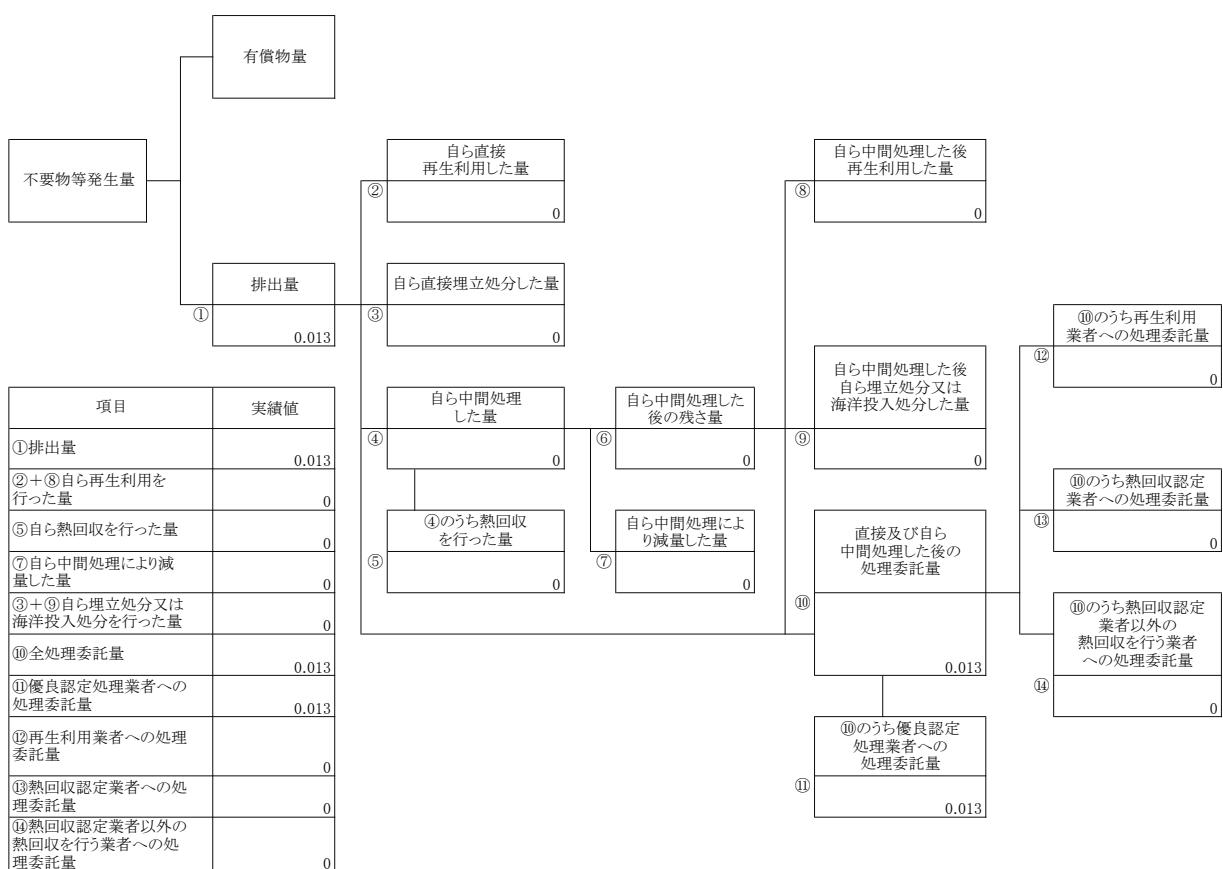
)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 汚泥(金属等を含むもの))

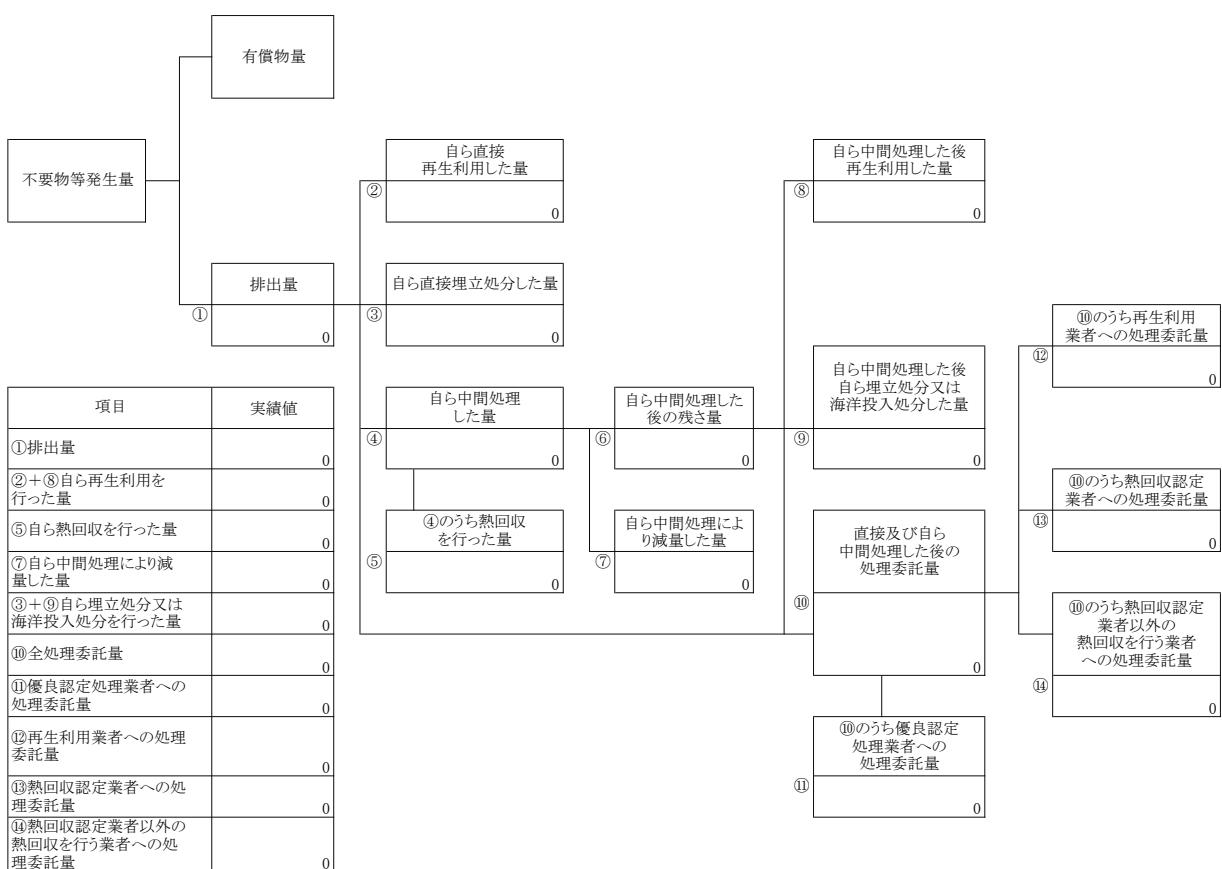
)



計画の実施状況

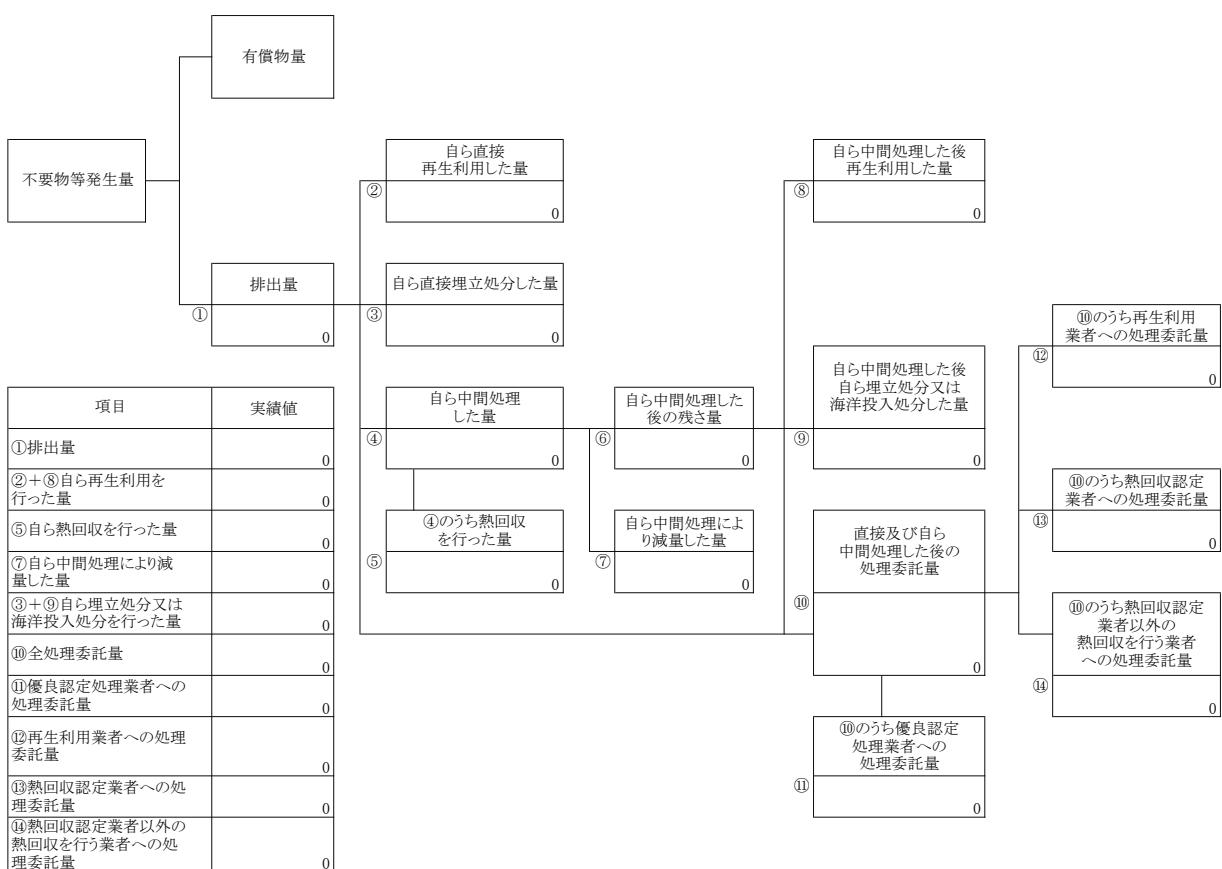
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸(金属等を含むもの))

)



計画の実施状況

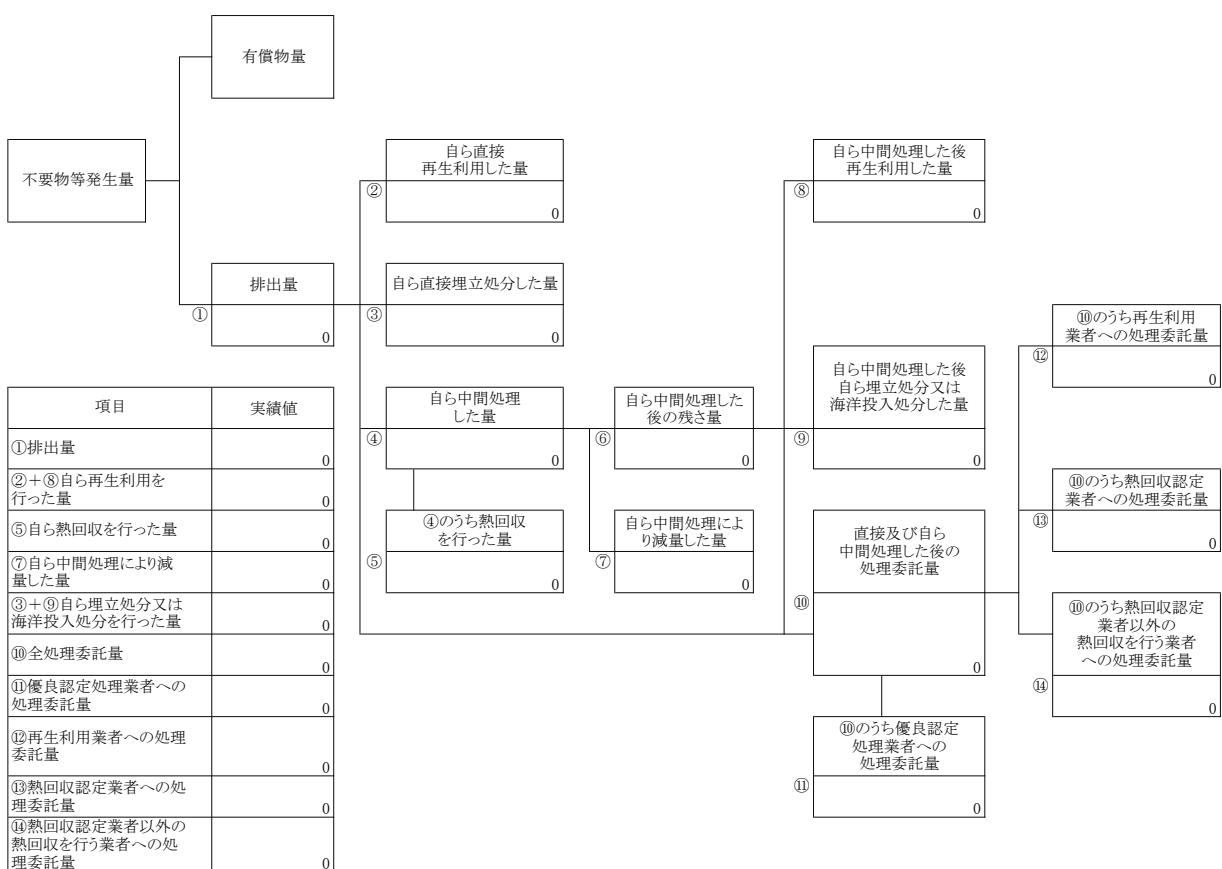
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃アルカリ(金属等を含むもの))



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃水銀等)

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。